

お客様各位 殿

弊社の環境問題の取り組みについて

株式会社 パロマインテックス

【弊社の取り組み姿勢】

パロマは地球環境保全を考慮した企業活動を行います。

最近「環境問題」が大きくとり上げられ社会問題となっており、企業としても環境対策が今後の経営・戦略上重要な課題となると判断いたしております。

弊社と致しましても、自社製品に各種の樹脂材料や包装材料を用いている関係上、社内に「環境問題対策委員会」を設置し、この問題に取り組んでおります。

委員会の目的は、当社の抱える問題点を明らかにし、速やかに対応策を取り、当社製品を御使用のお客様に安心してご利用いただくことを目的としております。

環境問題を解決するためには、使用素材の変更、生産設備の変更、仕入先との調整等、資金と時間も掛かりますが、当社はこの問題に積極的に取り組み「地球環境に優しい製品」の生産を目指します。

弊社の基本方針

1. 環境に優しい商品を作る。
2. 将来発生するであろう問題も排除、防止する。
3. 人・物・金をこの問題解決に積極的に投入する。

【弊社の抱える問題点】

パロマは現状の問題はもとより予見しうる問題にも積極的に取り組みます。

弊社の抱える問題は以下の通りです。

分類	該当商品		環境への影響
包装資材	塩ビ素材を含む資材	店頭前売り用プリスターパック シュリンクフィルム	焼却時ダイオキシン発生の原因となる
商品素材	塩ビ素材を含む商品	フリーボール塩ビ鋼管及びキャップ コーティングパーウエイト被覆材 ディップコート芯地のコーティング材	焼却時ダイオキシン発生の原因となる
	ポリカーボネート製商品	透明樹脂カーテンフック リングテープ用フック及び透明リング	成型品使用時ビスフェノールAを溶出する。
	原料にホルマリンを含む商品	樹脂製カーテンフックに使用するポリアセタール 芯地加工時の熱可塑性樹脂	不完全燃焼時ホルムアルデヒドを出す

上記のような問題点を抱えておりますが、通常の御使用状況下では何ら問題を起こすことはありません。

全てはその廃棄処分、特に焼却時の不完全燃焼時のみに発生が考えられる問題点であります。原料製造メーカーのMSDS(素材安全データシート)によれば、弊社使用素材は全て安全であるとのデータが出ておりますが、現実問題としてダイオキシン発生は焼却時の不完全燃焼に起因していることから考え、上記素材も問題のある素材と考えております。

【弊社の問題点への対応】

パロマは地球環境問題の重要性を自覚し、低公害・リサイクル可能素材の使用を推進し、お客様の環境問題解決に積極的に参画致します。

それではこの問題に如何に対応するかということですが、対応策を以下に記します。

分類	該当商品	対応策
包装資材	店頭前売り用プリスターパック	PETに変更
	シュリンクフィルム	オレフィン系素材に変更
商品素材	フリーポール塩ビ鋼管	被覆材をPP・ABSに変更
	フリーポールキャップ	オレフィン系素材に変更
	コーティングパーウエイト被覆材	EVAに変更
	ディップコート芯地コーティング材	アクリル系コーティング材に変更
	透明樹脂カーテンフック	PET樹脂に変更
	リングテープ用フック及び透明リング	
	樹脂製カーテンフックに使用するポリアセタール	
	芯地加工時の熱可塑性樹脂	ポリエステル系に変更

商品ごとに申し上げますと上記のようになります。燃烧時有害物質を出さないオレフィン系に換えることは環境への負荷を減少させることにはなります。

しかし環境問題を考えるときに最も有効な方法はケミカルリサイクル又はマテリアルリサイクルではないかと考えます。

カーテン業界で取り組みが進んでいるリサイクルはカーテン素材の60%を占めるポリエステル繊維のケミカルリサイクルであります。

したがって当社としてもこの流れに沿ったポリエステル樹脂による商品開発を最重要課題としております。主要商品であり、大量のエンプラ樹脂を使用しているアジャスターフックの製造には今後このポリエステル樹脂化を推進して参りますが、何分木経験分野での品質確立には設備投資と時間を要すると思われます。この間現在の環境問題を回避する素材としてポリオレフィン系のポリファイン樹脂商品をご用意しておりますのでお役立ていただければ幸いです。

【最後に】

「地球環境」を守ることは今後の企業経営活動の中でも最も重要な課題であり、無視する企業は世間から排除されると考えられます。弊社はこの点を肝に命じ今後全ての製品に対し「地球環境に優しい」をテーマとして取り組んで参ります。今後とも弊社製品をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

以上